

# 第204回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成25年3月)

柏崎信用金庫

## 1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,625	0.53	-0.48	4,115	0.93	-0.04
東部地区	14,249	0.00	-0.47	5,679	0.22	-0.40
西部地区	10,442	-1.03	-0.60	3,971	-0.70	-0.32
駅南地区	6,314	1.23	-0.42	2,733	1.97	-0.43
半田地区	3,688	1.96	-0.35	1,400	2.18	-0.07
横山地区	5,607	-0.53	-0.83	1,930	1.73	-0.77
茨目・田尻地区	6,979	-0.08	-0.64	2,414	0.91	-0.41
荒浜地区	5,024	0.05	-0.47	2,003	-0.34	-0.34
その他地区	19,749	-1.68	-0.34	7,171	0.06	0.18
西山町地区	6,098	-1.37	-0.26	2,144	-0.37	-0.32
高柳町地区	1,736	-3.50	-0.80	799	-2.44	-0.37
柏崎市計	89,511	-0.47	-0.48	34,359	0.38	-0.23
刈羽村	4,825	-0.53	-0.51	1,569	0.00	-0.25
小国地区（長岡市）	6,022	-1.34	-0.38	2,132	1.09	-0.18
出雲崎町	4,948	-1.63	-0.24	1,791	-0.66	0.05
合計	105,306	-0.58	-0.46	39,851	0.35	-0.21

（資料出所：柏崎市、各市町村）

平成24年7月から世帯数・人口について外国人住民を含んだ数を掲載しております。対前年同月比は平成25年6月分まで、外国人を含まない数との対比となっております。人口動向は前年同月比では、すべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で429人、0.47%、刈羽村で26人、0.53%、小国地区（長岡市）で、82人、1.34%、出雲崎町で82人、1.63%とそれぞれ減少しており、全体では619人、0.58%の減少となっている。また、前月比においても、柏崎市で433人、0.48%、刈羽村で25人、0.51%、小国地区で23人、0.38%、出雲崎町で12人、0.24%減少しており、全体では493人、0.46%減少している。一方、世帯数は、前年同月比では、刈羽村が増減なしとなっており、出雲崎町で12世帯、0.66%減少したが、柏崎市で131世帯、0.38%、小国地区で23世帯、1.09%増加したことから、全体では142世帯、0.35%の増加となった。また、前月比においては、出雲崎町で1世帯、0.05%増加しているが、柏崎市で80世帯、0.23%、刈羽村で4世帯、0.25%、小国地区で4世帯、0.18%減少した結果、全体では87世帯、0.21%減少している。

## 2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,337		-16.95		6.02	
月間有効求職者	2,024		-8.70		5.69	
月間有効求人倍率	0.66	0.87	-0.07*	0.04*	0.00*	-0.02*

\*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が1,337人と前年同月比で273人、16.95%の減少となり、前月比では76人、6.02%増加している。

月間有効求職者数は、2,024人と前年同月比で193人、8.70%減少し、前月比では109人、5.69%増加している。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.66倍と前年同月比で0.07ポイント下回り、前月比では増減なしとなっている。なお、県平均0.87倍と比べると0.21ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が530人と前年同月比で106人、16.67%減少し、月間新規求職者数が535人と前年同月比で142人、20.98%減少した結果、月間新規求人倍率は0.99倍となり、前年同月の0.94倍に比べて0.05ポイント上回っている。

### 3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成24年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	36	11	15	349	-8
共 同 住 宅	2	2	2	30	-3
事 務 所	0	0	-2	6	1
作 業 所・工 場	2	2	2	10	-5
営 業 建 物	1	0	0	19	0
公 共 建 物	0	-2	-1	4	1
そ の 他	10	3	3	133	54
合 計	51	16	19	551	40

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が51件と前年同月比で16件増加し、前月比では19件の増加となっている。工種別内訳の増減をみると、一般住宅(併用)が前年同月比11件の増加となり前月比では15件増加している。共同住宅は前年同月比で2件増加しており、前月比でも2件増加している。

なお、工種全体の申請内容は、新築が41件となっており、また一般住宅(併用)36件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況は、市内施工業者が17件(うち新築15件)、市外施工業者が19件(うち新築15件)となった。

### 4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,500	-0.12	-0.04	25,562	-3.82	-1.35
電 力	10,278	-2.94	-0.64	39,231	-5.43	-2.87

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。  
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で79口、0.12%減少し、前月比でも、29口、0.04%減少している。一方、電力においては、前年同月比で312口、2.94%減少し、前月比でも67口、0.64%減少している。

使用量は、電灯が前年同月比で1,016kwh、3.82%減少し、前月比でも、352kwh、1.35%減少している。一方、電力においては、前年同月比で2,253kwh、5.43%減少し、前月比では、1,163kwh、2.87%の減少となった。

### 5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m<sup>3</sup>、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	1,614,274	-5.28	-5.92	634,033	-0.04	-5.46
営 業 用	294,048	-6.22	-9.76	106,557	-6.04	1.88
工 業 用	789,085	-2.37	-9.22	112,470	-22.97	-0.83
官 公 学 校 用	646,050	-3.69	-13.63	74,800	-3.23	0.92
そ の 他				193	221.66	-5.39
合 計	3,343,457	-4.39	-8.62	928,053	-4.43	-3.63

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で153,519m<sup>3</sup>、4.39%減少し、前月比でも315,669m<sup>3</sup>、8.62%減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比、前月比ともすべての用途で減少している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で43,048m<sup>3</sup>、4.43%の減少となり、前月比でも、34,965m<sup>3</sup>、3.63%減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比では、その他を除く用途で減少、前月比では、営業用、官公学校用を除く用途で減少している。

## 6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	85,878	1.01	24.57	88,613	1.34	22.93
西 山	39,144	3.26	28.09	35,860	4.06	30.00
米 山	18,586	9.63	34.92	17,833	9.68	38.36
合 計	143,608	2.67	26.78	142,306	3.00	26.43

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で3,736台、2.67%増加しており、前月比でも30,336台、26.78%増加している。

一方、出口においては、全体では前年同月比で4,149台、3.00%増加し、前月比でも、29,752台、26.43%の増加となっている。

インター別で見ると、前年同月比で、入口・出口ともにすべてのインターで増加し、前月比でも、すべてのインターの入口・出口で増加している。

## 7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	368,388	-0.71	2.11	149,105	-1.17	2.39
平 残	361,221	0.75	0.31	146,839	-1.17	1.33

預金は、末残が前年同月比で2,665百万円、0.71%減少し、前月比では、7,639百万円、2.11%増加している。また、平残においては、前年同月比で2,720百万円、0.75%増加し、前月比でも、1,152百万円、0.31%増加している。

一方、貸出金は、末残が前年同月比で1,779百万円、1.17%の減少となり、前月比では3,483百万円、2.39%増加している。平残においては、前年同月比で1,746百万円、1.17%の減少となり、前月比では、1,937百万円、1.33%の増加となった。

## 8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	22,029	-4.25	-13.66
交 換 金 額	16,227	-0.76	-22.82
不 渡 り 手 形 枚 数	2	-80.00	-92.00
不 渡 り 手 形 金 額	8	-50.21	-79.10

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で978枚、4.25%減少し、前月比でも3,487枚、13.66%減少している。また、交換金額においては前年同月比で125百万円、0.76%減少しており、前月比でも4,799百万円、22.82%減少している。なお、不渡手形は2枚、8百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産は、7件（前年同月7件、前月2件）、負債総額9億円（同8億円、同23億円）となっており、地区別では下越地区で4件、（新潟市4件）、中越地区で3件（長岡市3件）発生しており、上越地区では発生していない。業種別は、建設業が1件、製造業が1件、卸売業が1件、小売業が2件、運輸・通信が2件となっており、倒産原因別の状況については、販売不振4件、その他3件となっている。また、負債額10億円以上の大型倒産は発生していない。

年末から続く円安については、輸出企業にとっては業績回復への期待が高まっている反面、原材料価格の高騰が輸入企業の資金繰り悪化を招く可能性がある。足元の業績が回復している中小企業はまだ少なく、業績回復までには時間がかかるものと思われる。